

2020年8月23日

病院内における新型コロナウイルス感染症患者発生に関するお知らせ

この度、社会医療法人社団慈生会等潤病院（理事長・院長 伊藤雅史）において入院患者6名、職員1名、計7名の新型コロナウイルス感染症患者が発生しましたので、お知らせいたします。

診断日別の発生状況は、8月17日 患者2名、19日 患者2名・職員1名、20日 患者1名、21日 患者1名です（8月22日現在）。以上の患者は全て足立保健所に報告し、その指導に基づき対応して参りました。6名の患者については22日までに全員、感染症指定病院等に転院し、職員1名は出勤を停止して所轄保健所の指示に従い療養しています。

感染経路については、足立保健所の積極的疫学調査に協力して解明に努力しておりますが、現時点では判明しておりません。保健所による濃厚接触者と判断された方、院内で有症状の方を中心にPCR検査を実施した結果が上記に示した通りですが、今後、残りの入院患者・職員全員に対してPCR検査を実施する予定です。更に8月24日には足立区・東京都の合同現地調査が入ることが決定しており、原因の究明や感染対策について詳細に検討していただく予定です。

感染患者発生に伴い、当該病棟の入退院の停止（現時点では解除）や新型コロナウイルス感染症疑い患者の救急受入れ停止などの対応を取りましたが、新たな診療制限やその解除につきましては、今後も保健所や行政と連携して対応して参ります。

当院は指定二次救急医療機関、東京ルールにおける地域救急医療センター、新型コロナ疑い地域救急医療センターとして、区内外の救急搬送患者の受入りに尽力して参りました。特に4月以降には新型コロナ疑い患者の救急搬送がひっ迫するなかで、前年比30～60%増の救急車を受入れております。

その責務を果たすために、感染対策に対する教育とその実践について、最大限の注意を払いながら診療して参りました。しかし、7名の感染者が発生したことに対しては甚だ遺憾ではありますが、大きな責任を感じております。患者様、関係する皆様におかれましては、多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げますと共に、1日も早いご快癒を祈念申し上げます。

今後は感染対策を更に徹底させて、引き続き地域医療のために努力する所存です。今後、状況が変わる場合には、速やかに情報を開示して参ります。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上